



海のたより



理事長杯ヨットレース
完全優勝のスーパーウェーブ

目次	行事予定
表紙 第22回理事長杯ヨットレース	10月11日 スモールレース
P 2 スーパーウェーブ優勝記 ホープ・スモールクラス優勝記	10月18日 早朝レース 10月25日 みやまつり海中渡御
P 3 レース成績表	10月25,日 31日 11月1日 東海チャンピオンシップレース
P 4 レースにおけるフィニッシュについて P 5 年間成績、中間成績表 P 6 アルミスのシルバーウィーク	11月16日 MCC・LMYC合同レース

昨年の雪辱

スーパーウェーブ・長坂

昨年の理事長杯レースはもう少しのところで、ダンシング・ビーンズに優勝をさらわれ悔しい思いをしました。今年は何とか優勝を狙って、ダンシングの3連覇を阻まなくてはの思いで参加しました。

今回のスーパーウェーブ(以後SWと略)は7月に行われた「全日本ミドルボート選手権」に参加したメンバーを中心に集まった精鋭8名での参加です。

でも、スタート時の海上の風は超微風のSWには不利な風、シームやユーデルの有利な風で不利な戦いである。超微風の中、リミットマーク寄りでのSWはジャストスタートし、弱い風の中、8名のメンバーの位置取りを常に考え、考え艇を走らす。何とか1マークである、マークの回航をトップで回航し、ホーネット、DBにやや差を広げてちょっとにんまり。

次の第2マークまではSWの走りが悪くなるフリーでの差を詰められるのは必至、しっかりスピントリムで第2マークも後続艇にあまり差を詰められる事なく、トップで回航し、再び第1マークへと向かう。相変わらず風は弱い。

とにかく丁寧に丁寧にミスが無いように艇を走らせ、スタートして一度もトップを譲ることなくファーストフィニッシュでした。修正もトップで完全優勝しちゃいました。SWは理事長杯レースでの優勝は初めてと思います。

海陽YHの職員の方々、ありがとうございました。楽しいレースができました。最後に我がSWは7月の「全二本ミドル選手権」に初参加して、増々レースの楽しさを感じ今後も毎月2回の練習をしようかと意見が出ています。一緒に練習される方、大歓迎ですので、ぜひご参加ください。コミッティーの皆さんに感謝、感謝です。



常にリードしファーストフォーム



理事長杯スモールの部優勝・総合三位

HOPE I 北河

HOPEは今シーズン2回目のレースでメンバーは女神(6歳のかわいい女の子)を含め5名です。

レース海面につくと風は微風である。スタート位置取りはラインから離れず狙いでいた。他艇を見るとI旗を気にして慎重にアプローチしている。

11時スタート 我が艇は上側から良いスタートである。しばらくすると大島方向へタックする艇、そのままの艇と別れていく。スーパーウェーブ・ホーネット・ダンシングとトップ争いの艇、スモールの他艇等周囲の状況を見ながら、我が艇はフレッシュな風とスピード重視で1マークを目指して行く。

ライバルの弥栄とミート、ポートで我が艇の前を通過するがギリギリ状態で差がなく俄然ファイトが湧いてきた。弥栄のコースを見て我が艇はスターボーでスピードもありこのまま行くことにする。他のスモール艇との差はかなりつけることができた。

1マーク付近では風も上がってきたので弥栄・ベベに少し離されたがミス無く回航。2マークでは早めにスピンドウンで3マークへ向かう。3マークではシンセットが反対側で間に合わなく回航後スピンアップ即ジャイブ。大きなミス無く回航。「追いついているぞ」「差がちじまったぞ」と言いながら弥栄・ベベを追撃(ナンチャッテ)、無事フィニッシュすることができました。

艇の片づけを終えお昼弁当を取っていると事務局の方から表彰式には出てくださいと言われてスモール優勝・総合3位を知らされメンバーの歓声が上がりました。

レース参加の皆さんお疲れ様でした。コミッティーの皆さんありがとうございました。



先行する弥栄を追う



第22回 理事長杯ヨットレース成績表

主催：(公財)愛知県都市整備協会

開催日：15.9.13(日)

コース	S → ① → ② → ① → F
風速	3 m/S

エントリー艇							所要時間				修正時間	総合	スモール
No.	着順	艇名	スモール	TYPE	体験乗船人数	MRC	時	分	秒	A	MRC*A	順位	順位
10	1	スーパーウェーブ		スロット31		0.984	1	16	43	4603	4529	1	
11	2	HORNET		SEAM31	2	1.013	1	17	20	4630	4690	2	
2	10	ホープ	○	YAMAHA21C		0.817	1	36	10	5770	4714	3	1
13	3	Dancing BeansⅢ		SEAM31		1.010	1	18	34	4714	4761	4	
7	8	弥栄	○	イオロス26		0.900	1	30	33	5433	4890	5	2
8	9	BeBeⅢ		パイオニア9		0.913	1	31	31	5491	5013	6	
4	5	アルミス5		JV9.6	3	1.010	1	23	24	4989	5039	7	
14	4	オデッセイ		SEAM31Ⅱ		1.013	1	23	15	4995	5060	8	
15	6	アネックスV		ベネトファースト36.7		1.018	1	25	58	5158	5251	9	
9	7	BoomerangMJ		Seascape27		1.020	1	26	53	5213	5317	10	
12	11	エルプリメロ	○	YAMAHA21S		0.822	1	53	40	6820	5606	11	3
1	12	Donkey	○	ヤマハ26CEX		0.861	1	59	32	7172	6175	12	4
5	14	JOGGER-Ⅱ	○	ヤマハ23		0.844	2	18	26	8306	7010	13	5
6	13	はやぶさ1	○	FAR727		0.861	2	18	12	8292	7139	14	6
3		TLK	○	J24		0.898			DNC			15	7

レースにおけるフィニッシュについて

中村

先日の理事長杯レースのフィニッシュラインの設定についてベベチームから質問があり、調査しました。

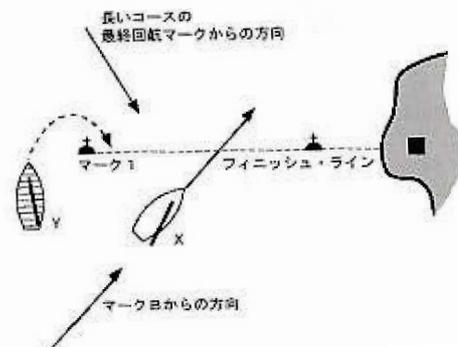
レース帆走指示書にはフィニッシュラインは本部船が右、リミットマークが左と記載されていた。ベベはフィニッシュラインに向けて帆走中、本部船が左に見えたため本部船を回り込みフィニッシュラインを横切ったがコミッティーからダメのアピールがありもう一度回りなおし本部船を左に見てフィニッシュした。このため後続の弥栄に逆転されてのフィニッシュになった。(ベベチームからの聞き取り)
帆走指示書通りにフィニッシュラインを横切ったのにフィニッシュが認められないのはどうしてか？

レース委員会は帆走指示書とおりにフィニッシュラインを設定しなかったが、フィニッシュラインは正しく設定している認識でフィニッシュの定義に従いフィニッシュを計時しレースを終了しました。
参加した他艇の皆さんいかがですか。帆走指示書と違うラインの設定を皆さんはどのように解釈してフィニッシュしましたか。
帆走指示書を確認していない。確認していたが前の艇に続いて行った。etc

ベベチームは不納得ながらそのまま母港に戻ってしまい何のアピールもしませんでした。
ベベと弥栄がファーストホーム争いしていたとしたらどうだったでしょうか
ベベは悔しくて抗議していたでしょうね。

このケースに似た扱いがケースブックに掲載されています。
2009-2012のケース45で説明されています。
良く読んで理解してください。
結論を言えばベベが当初の回り込みフィニッシュをしていれば、ベベはそのフィニッシュを認めてもらう救済要求が成立したと思われます。

レース委員会の誤りのせいで艇が正しくフィニッシュしなかった場合
フィニッシュの定義は？救済要求の要件は？
そんな事例がケース45です。



定義 フィニッシュ

艇体、または正常な位置にある乗員もしくは装備の一部がコース・サイドからフィニッシュラインを横切るとき、艇はフィニッシュするという。ただし、・・・以下省略

62.1 救済要求の要件

(a)大会のレース委員会、プロテスト委員会、主催団体、装備検査委員会または計測委員会の不適切な処置または不手際。

中村の感想

定義によれば、回り込みはフィニッシュにならない。フィニッシュは流し込みである。
ならば本部船が右とか左とか指示する必要はないと思われるが、帆走指示書に記載していることが多い。
コミッティーは帆走指示書とおりに設定しミスをしないうこと。
右左の指示はなくても良いといっても、夜間フィニッシュではリミットが見にくいことが多くリミットがどちらにあるかは必ず明示しないと直前まで判断しにくいから明示すべきでしょう。

MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号

2015年度 MCC年間レース成績表 (中間成績)

2015 MCCレース委員会

レース名		前 期												後 期												後期 総合		年間総合 (上位6レーストータル)			出 艇 回 数					
		4月ボイントレース			春のチャンピオンレース			MCCカップレース			三河湾周航レース			8月ボイントレース, テニスコナ			9月ボイントレース, 理事長杯			佐久島レース			秋のチャンピオンシップ													
ファーストホーム		ノーレース			ホーネット/ダンシング			ホーネット			ホーネット			前期 総合																						
優 勝					スーパーウェーブ			ホーネット			ホーネット																									
艇 名	TYPE	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	累計	順位	得点	順位					
ホーネット	SEAM31	C	7.5	7.5	3	8	15.5	1	10.25	25.8	1	10.25	36.00	1	3	8	44.0	2	9	53.0	A	0	53.0	A	0	53.0	17.00	2	ホーネット	53.00	1	37.50	1			
アルミスV	J/V9.6	C	7.5	7.5	2	9	16.5	6	5	21.5	2	9	30.50	3	4	7	37.5	5	6	43.5	A	0	43.5	A	0	43.5	13.00	4	アルミスV	43.50	2	32.50	4			
スーパーウェーブ	SLOT31	C	7.5	7.5	1	10.25	17.8	4	7	24.8	C	8	32.75	2	A	0	32.8	1	10.25	43.0	A	0	43.0	A	0	43.0	10.25	5	スーパーウェーブ	43.00	3	36.00	2			
ベベⅢ	PION9	C	7.5	7.5	6	5	12.5	2	9	21.5	A	0	21.50	6	1	10.25	31.8	4	7	38.8	A	0	38.8	A	0	38.8	17.25	1	ベベⅢ	38.75	4	33.75	3			
ダンシングビーンズⅢ	SEAM31	C	7.5	7.5	4	7	14.5	3	8	22.5	A	0	22.50	5	5	6	28.5	3	8	36.5	A	0	36.5	A	0	36.5	14.00	3	ダンシングビーンズⅢ	36.50	5	30.50	5			
オデッセイ	IMS950	C	7.5	7.5	5	6	13.5	5	6	19.5	DNF	5	24.50	4	A	0	24.5	6	5	29.5	A	0	29.5	A	0	29.5	5.00	8	オデッセイ	29.50	6	24.50	6			
アネックスV	First36.7	A	0	0.0	A	0	0.0	A	0	0.0	A	0	0.00	7	6	5	5.0	7	5	10.0	A	0	10.0	A	0	10.0	10.00	6	アネックスV	10.00	7	10.00	7			
ブーメラン	J92	A	0	0.0	A	0	0.0	A	0	0.0	A	0	0.00	7	2	9	9.0	A	0	9.0	A	0	9.0	A	0	9.0	9.00	7	ブーメラン	9.00	8	9.00	8			
スモール		4月ボイントレース			5月ボイントレース			6月ボイントレース			7月ボイント・マリンカップ			8月ボイントレース, テニスコナ			9月ボイントレース, 理事長杯			10月ボイントレース			11月ボイントレース													
あや	YAM21S	1	10.25								1	10.25																				あや	20.50	1		
ホープ	YAM21C										強風																						ホープ	19.25	2	
ハヤブサ	FAR727	3	8																															ハヤブサ	17.00	3
ハニービー	YAM23	2	9								中止																							ハニービー	9.00	4
出 艇 数																																				
年間総合優勝	:	(蒲郡市長杯、ミール杯) ポイントレース総合優勝												:	(市川カップ)												本年から得点計算が変わっています。 従来捨てレースは1でしたが、今年は2レースです。 コミッティの得点は参加艇の平均得点です。 4月ポイントレースのように 参加料徴収後のノーレースは平均得点にします。 参加料徴収前に強風等でのノーレースは無得点です。 中間成績 残り2レースです。上位4レースの成績を欄外に計算しました。 年間総合はホーネットとスーパーウェーブが僅差です。 スモールはあやとホープが僅差です。									
準優勝	:	(市川杯)						チャンピオンS総合優勝						:	(スズノガキカップ)																					
第3位	:	(西尾クリニック杯)						敢闘賞						:	(LC会長杯)																					
前期総合優勝	:	ホーネット			(飾舵輪)			MCCカップ優勝			:	ホーネット			(MCCカップ)																					
後期総合優勝	:				(飾アンカー)			三河湾周航レース優勝			:	ホーネット			(チタカップ)																					
最多ファーストホーム賞	:				(トロフィー)			佐久島レース優勝			:				(東海カップ)																					

上位4レース

得点	順位
37.50	1
32.50	4
36.00	2
33.75	3
30.50	5
24.50	6
10.00	7
9.00	8

アルミスのシルバーウィーク

アルミス5稲垣

シルバーウィークの初日の9月19日（土）午前8時40分に海陽ハーバーを出航する。

今回は少しでも遠くまで行きたいと思ったが、給油等の準備に手間取り出発が遅れ、夕方までに到着できる港を目的地として出航した。

慌てて出航し1Pリーフの準備を忘れてメインセイルを上げてしまい、フルメインにファーラージブを50%程度に展開する。徐々に北西の風が強くなり、白波も立ってきたので西浦のブランケットでメインセイルの1Pリーフを考えたが、これから風が落ちる天気予報でありそのまま向かう。艇速は常時GPSで7~9ノット、渥美火力沖ではMax12ノットオーバーで帆走、出発から3時間で神島を通過、台風20号からの周期の長いうねりで私は少し船酔い気味になる。5時間で大王崎を通過し麦崎沖の定置網を外回りし布施田水道を通過、風も少し落ちファーラージブ100%に展開し尾鷲方面に向かう。



5時間で大王崎灯台通過



布施田水道の大島・小島

最初は目的地を尾鷲港と考えていたが、この時期の午後は日が短く、以前入港したことのある紀伊長島港とする。何とか夕方には紀伊長島港に着き、漁港の浮棧橋に船を着け漁師に係留場所を聞くと「明日は魚市場が休みだから」と快諾をもらう。紀伊長島にはホテルもなく銭湯も無いので、仕方なく電車で30分の尾鷲まで行き、銭湯を探しお風呂に入り、海鮮料理を食べて23時過ぎに船に戻り就寝する。

9月20日（日）8時30分に紀伊長島を出発、答志島の和具港に向かう。



紀伊長島漁港の浮棧橋（日曜日は市場が休み）



紀伊長島港沖

北西の風で布施田水道を目指す。五か所湾に近づくと風が落ち機帆走で向かう。初日は三河湾でヨット1艇を見ただけであったが、2日目は数艇の大型艇が紀伊長島沖を勝浦方面に向かって行き、布施田水道では碧南ヨットクラブの

MCC海のたよみ10月号・MCC海のたよみ10月号・MCC海のたよみ10月号

艇団とすれ違い、答志島の和具港に到着するまでに十数艇とすれ違った。

前回、9月5日のクルージングでも釣れたが今回も安乗沖でケンケンにツバスが掛かる、残念ながら船に上げる寸前で逃げられてしまった。



9月5日に大王沖で釣れたツバス



答志島和具港、今日は他艇がない

石鏡から加布良古水道を通過、坂手島を左に見て菅島水道に入り、午後4時ごろに答志島和具港に到着、遅くなったので係留場所が無いかと心配したが港にはヨットはアルミス1隻だけであった。係留した堤防で漁師の親子がアジ釣りをしていたので、私はサビキ仕掛けにコマセ無しで小アジ釣りを楽しむ。その後、ホテル寿々波でお風呂に入り、大春で海鮮料理を食べて就寝する。

9月21日(月)8時30分に和具港を出発、風が無く機走で伊良湖水道を通り佐久島に向かう。11時頃に佐久島東港に到着、民宿さざ波で海鮮丼を食べ、15時に海陽ハーバーに帰港する。

次は紀伊勝浦港に行きたい。

9月23日(水)シルバーウィーク最終日、アルミスの手入れに行くとき持ちのよい東の風が吹いていたので11時頃から出航した。海陽ハーバー沖でモスが空中を飛んでいた。



空中を飛ぶモス



一人で渥美火力沖まで

メインセイルは上げずにファールージブ1枚で帆走、それでも艇速7ノットで渥美火力の手前1マイルまで行き、そのまま引き返してきた。

その後、東の風が10mオーバーになり白波が出てきたので15時に海陽ハーバーに帰港する。

シルバーウィーク5日間で4日間もヨットを楽しみました。

1年半後のリタイヤが待ち遠しい。

MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号